



KURAZONOプロの
本音ITレッスン

レッツ・ネット!

第2回: Googleで探せるか? 遊べるか?

[今月のお題]

ようこそ「レッツ・ネット!」へ。先月から始まったこの連載。前はオレの愛するメールソフト「Shuriken Pro2」の使いこなしを解説した。さっそく、大きな反響があったので報告しておこう。ほかでもない、このソフトの生みの親、ジャストシステム広報様からお便りが届いたのだ。「確かにオレもネーミングにはちょっとした恥ずかしさを感じていた」なんて書いてしまったもんだから、受信箱の件名を見つけたときにはドキッとしたぞ。でも、さすがは天下のジャストシステム。怒っていないばかりか、とても丁寧なお礼もいただいた。で、何度かメールをやり取りするうちに、「今度、お食事でも」ということになった。もちろん、「本当にごちそうしていただいたらシャレにならないので、ワリカンでいきましょう!」と書いたぞ。

さて、今月のテーマはあの有名な検索サイト「Google」だ。検索テクニックというと、よく「and」「or」「+」「-」とかの検索記号が出てくるが、そんな面倒なことをしなくても見つけるのがGoogleのいいところ。堅い話は抜きにして(本当はオレ自身、そういう記号を使って検索をしたことが一度もないんだけど)、もう少し、実践的というか、経験的というか、レッツ・ネットらしい話をしていく。それから、Googleで暇つぶしができるって知ってたかな? オレも担当編集の原稿を待つ間によくGoogle遊びをやる。本当はそういう時間を有効活用しなきゃだめなんだろうが、待ち時間ってテンション低いんだよね。この世に無駄なことなどない。ネット道を極めたいなら、ネットで遊ばなきゃ。じゃ、始めよう。一緒に、「レッツ・ネット!」

Lesson 1: 準備をしよう ~ オレだけのGoogle

Googleはとにかく、よくできている。狙いどおりのものが見つかる確率が本当に高い。その秘密は、「PageRank」という技術にあって、簡単に言うと「他のページからどれだけリンクされているか」という参照度を算出するんだな。参照度が高ければ高いほど「重要なページ」となるわけだ。だってそうでしょ、「NTT」ってキーワードで探したら、日本中で一番多くリンクが貼られているページはNTTに決まっている。仮に、「日

本鉄砲大会 (NTT)なんてページがあったとしても、本家のNTTに比べたら圧倒的にリンクされている数が少ないはずだ。有名サイトや人気サイトもいろいろなところからリンクが貼られているでしょ。とにかく、このPageRankを考えた人はすごいね。本誌2001年8月号で詳しく解説しているのだから、興味がある人は読んでみてくれ。さて、Googleを使うなら、まずはトップページから「表示設定」をクリックして下の画面を出してみよう。最初の設定で使ってもいいのだけど、ここにいるいろいろやっておくと、快適に使えるぞ。まずは「検索言語の設定」。通常は検索窓の



Googleの達人への第一歩はこの設定画面から始まる。いろいろ試してみても、使いやすい設定を見つけよう。外国語が得意な人は、ぜひ、言語設定にもチャレンジしてみよう。 www.google.co.jp

下に「ウェブ全体から検索」と日本語のページを検索」と表示されているはずだ。「私は中国語で探したいのよ」「おれはスペイン語さ」という人はここで「これらの言語のページだけから検索する」を選んで、使う言語にチェックしよう。いくつでも選べるぞ。

「検索結果の表示件数」も自由に選べる。初期設定は10。ちなみに、オレは20にしている。ページをめくるのが面倒なら、思い切って100にしてもいい。それから、「結果ウィンドウ」の「検索結果を新しいウィンドウに開く」にチェックするのがオススメだ。これをやらないと、検索結果のページでリンクをクリックするとGoogleからリンク先に移動してしまう。そこからさらにリンク先のページをめくっていると、Googleに戻れなくなる。検索結果のページとは別のウィンドウにリンク先を開いて、行ったり来たりするのが便利だぞ。これで準備はOK。じゃ、Googleの楽しい使い方を見ていこう。

POINT : いっぱいリンクされてるやつが偉いのさ

Lesson 2 : ニュースサイトの探し方 ～ 勝手検索はやめられない

この連載を読んでいる志の高いあなたなら、毎日必ずチェックするニュースサイトの1つくらいはあるはずだ。ニュースサイトには2つの使い方があ。日々のニュース速報を見る場合と、資料として過去の記事を検索する場合だ。いまどきは、ほとんどのニュースサイトに「記事検索」のボタンがあって、過去記事を探せるようになっている。でも、中にはしょぼい検索エンジンを使っているところもあって、なんで見つからねえんだよとイライラしたことはないだろうか。

そこで、Googleだ。キーワードのあとに続けて「site:ニュースサイトのドメイン」を入れると、なんと! Googleがそのサイトの中だけを探してくれるのだよ。たとえば、弊社がやっているWatchのサイトで、今月号の108ページにも登場した「Tablet PC」を探すなら、「Tablet PC site:watch.impress.co.jp」と入れる。結果は下のとおり。出る出るで89件。さすがはWatchだね。しかも、結構いいネタが一番上に来てるでしょ。ここがGoogleの賢いところ。下の図の右にある赤い囲みを見てほしい。

Googleは一度、検索したキーワードを覚えていてくれて、最初の数文字を入れると候補リストが出てくる。だから、複数のニュースサイトを渡り歩いている人は、「site:ドメイン」だけを入れて、検索ボタンを押す。使うサイト分だけこれを繰り返す。すると、二度目からは、「si」と入れるだけで候補が出てくる。これを選んで、その前に検索したいキーワード入れれば、楽でしょ。話を戻そう。Watchに掲載されているTablet PCのニュースが見つかった。そのままニュースを読んでいいけど、やっぱりTablet PCの写真を見たいのが人情ってものでしょ。そんなときはロゴ下の「イメージ」を押すんだね。これは結構おもしろい。Watchでも35枚の写真が出てきた。おっと、君、きみい。エッチなキーワードを入れて「イメージ」を押したな。そういう使い方もなくはない。でも、たいい芸術性の高い写真とかグラフィックとかが出てきて、「ああ、みんな真面目にやってるんだ」と自分が惨めになるから気をつけてくれ。その筋は専門サイトで探した方がいいぞ。

POINT : エッチな言葉を入れてイメージを押してはいけない

【ニュースサイトを勝手に検索してしまう】



Lesson 3: イマジネーションを働かそう
- 見つからないときは工夫が必要

Googleを使っているのに、なぜか目当てのサイトが見つからない。確かに、そういうことはよくある。ここでは、2つの難問に挑み、見事にドンピシャなサイトを探し当てたオレの経験を紹介しよう。

おれはボサノバが好きで、自分でもギターを弾いたりしている。ボサと言えば、ガットギターだ。ところが、エレキギターと違って若いヤツらはあまりガットギターを買わないから、情報も少ないんだね。ある日、ガットギターの専門店に弦を買おうとしたら、15種類もあるじゃないか。先月も話したが、オレはこだわり派だから、どの弦を買おうとどんな音がするのかを知らずにはおれなかった。そこで、家に帰ってGoogleで調べた。つまり、目的のサイトは「15種類のガットギター弦について細かく解説している」ところだ。

「ガットギター 弦」と入れて検索したが、全然、見つからない。こういうとき、まずは類義語を考えてみる。「ガットギター」は「クラシックギター」とも言う。「クラシックギター 弦」で試す。ああ、なんか大学のクラシックギター研究会のホーム

ページばかり出てくるぞ、もちろん、弦の解説はない。こうなったら、むやみにキーワードを入れてもタダだ。じっくり考えたほうがいい。イマジネーションを働かせて、まだ見ぬページがどんなものかを想像してみよう。オレは閃いた。弦の解説をいらないにやっつけてやるのはだれだ。楽器屋だ。それもガットギターの専門店だ。小さなお店だね。で、そのページにはカタログがあるはず。で、ガットギターの専門店だから「ガットギター弦」なんて呼ぶのはおかしい。もっと細かく分類してなきゃだめだ。

そこで、オレは弦のブランド名の中からもっともメジャーな「プロアルテ」を選んだ。とどめは「ナイロン弦」だ。おそらく、専門店ならこう呼ぶはず。「プロアルテ ナイロン弦」。ボタンを押した！見事的中。「アウラギターサロン」というめっちゃ濃いギターショップのサイトが見つかった。もちろん、プロアルテの詳しい解説もある。オンラインで購入もできる。それ以来、オレは必ずここ弦を買うようになった。

弦をゲットしたオレは、ボサノバのコード譜を探した。これもなかなか見つからない。まずは類義語だ。「ボサノバ」だけでも、「ボサノバ」、「ボサノヴァ」、「ボッサノバ」がある。全部試したがだ

め。そこで、またイマジネーションだ。ボサノバと言えはブラジルでしょ。ブラジル人なら自分で探譜したコードを上げているかもしれない。いや、1人は絶対にいる。そこで、最初に解説した「言語の設定」で「ポルトガル語」を選び、「Bossa tab」と入れた。なんと、一発です。それが下のページ。他にも「.com.br」のドメインでいくつか見つかった。ただ、今回はそのコード譜がけっこういい加減だったという別の問題にぶつかってしまったが。

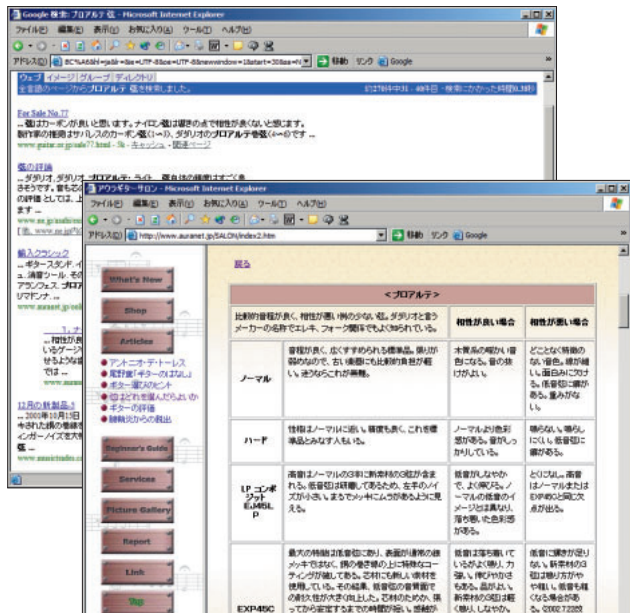
まあ、とにかく、イマジネーションがすべて。探したいページを先に予想するんだね。がんばってみてくれ。

POINT: 探したいページを頭の中で作ってみるんだ!

LESSON 4: Googleで遊ぼう
- 悲しいのはキミだけじゃない

じゃ、ここまで読んでくれた人だけに、Googleの楽しい使い方を教えよう。まずは、うちの編集部の高橋正和が考えたすくれワザから。仕

【検索はイマジネーションがすべて】



アウラギターサロン
www.auranet.jp

【日本語と英語だけじゃみつからない】



BOSSA NOVA GUITAR
www.bossanovaguitar.com

事に疲れたとき、悲しいとき、怒られてムカツクとき。そんなブルーなときは、Googleの検索窓にその気持ちをそのままぶつけてみよう。「ああもう疲れたなあ。ね、いるでしょ。君と同じように疲れた人が、日本中に。」むかつくだよ。いるいる。みんなむかついているんだよ。でも、がんばって生きている。結果が出たら、1つ1つ読んであげようね。きっと勇気づけられるはず。次は名前検索。これはわりと知られているかな。自分の名前をフルネームで入れてみる。ネットで活躍している人は、自分の記事が見つかるだろうね。でも、狙いはそれじゃない。同姓同名の人を見つけるのが目的。日本のどこかで、自分と同じ名前の方が活躍していると思うと、なんかいいじゃない。オレの知人の1人がこれをやったら、同姓同名の神父さんが見つかった。それ以来、彼はそのページに定期的に通い、いまではすっかりクリスチャンになった。わりとろくでもないヤツだったから、いい話だと思うよ。ちょっと変わった名前の方は名前検索に向かないので、あしからず。

最後は、オレが解説者をやっているNHKの『ITキング決定戦』でも採用された「検索じゃんけん」。これは2人以上でやる遊びだね。とにか

く検索結果の少ない方が勝ち。まず、テーマを決める。で、入れるキーワードは2つ。たとえば、テーマが芸能人なら、「浜崎あゆみ 浅丘ルリ子」とかね。なんと、これでも398件もある。もっと変な組み合わせじゃなきゃ勝てない。それから、1つを超メジャーな人に固定するとさらにおもしろいぞ。「浜崎あゆみ」をパスワードにしてやってみよう。「浜崎あゆみ ジョニー大倉」。これで70件。相手によっては勝てるかもしれない。でも、もっと少ない組み合わせがあるはず。「浜崎あゆみ 一節太郎」。うん、10件。このくらいがボーダーラインかな。言い忘れていたが、0件は失格になるぞ。最強は1件だ。もし、浜崎あゆみとの組み合わせで1件になる芸能人がわかったら、メールで教えてくれないか。アドレスは下の囲みに書いてある。先着1名様に本誌Tシャツをプレゼントするぞ。ただし、自分でページ作るのはなしだからな。じゃ、みんなも最強の「検索ジャンケンニスト」を目指して精進してくれ!

POINT : Googleで人生が変わった人がいてもいいじゃないか

LESSON 番外 : アップデート情報
~ 備えあれば憂いなし

そういえば、ウイルスに強いはずのShurkenにもセキュリティホールが見つかってしまった。8月29日に修正パッチが上がったので、先月のレッツ・ネットですっかりShurikenの虜になった人は必ず、アップデートしよう。ヘルプメニューから「ShurikenのWebページ」を選ぶとホームページに行ける。アップデートしたあとで添付ファイルなどを実行しようとする、「××を実行しようとしています。よろしいですか」とメッセージが出るようになる。ここでむやみに「はい」を押してはいけない。安全かどうかを確認しようと言われても、わからないよなあ。基本はHTMLメールは開かない。これが一番だ。知人からのメールでも油断はできない。できれば、テキストメールで送ってくれるようお願いしてみよう。あと、添付ファイルの付いたメールやHTMLメールを一覧からダブルクリックするのも危険だぞ。メールはプレビューで見よう。今月はそんなところかな。皆さんからの熱いお便りを待っている。では、また来月お会いしよう。「レッツ・ネット!」

連載内 連載 **がんばれMozilla 最終回**

わりとおもしろいかなと思ったこの連載内連載だが、Mozillaを日々使っていると、ほとんど不自由がない。オレががんばれと応援するまでもないわかった。ということで、2回目にして最終回となった。今月トライしたのは@Niftyの「BBナビ」だ。ポータルともひと味違う「ブロードバンドナビゲーションサイト」。インターフェイスがすべてFlashできていて、オレンジ、ブルー、グリーンボタンがさまざまなサイトへの入り口となっている。配置もドラッグアンドドロップで自由に変えられるというかなり凝ったページ。もちろん、Mozillaは問題なく表示できた。まあ、Flashだからあたりまえと言えば、あたりまえ。

さて、次号からこのコーナーは読者の皆さんとのインタラクティブなものにしたいと思う。レッツ・ネットで取り上げてほしい話題、誰にも聞けなかった疑問、KURAZONOプロへのはげましのお便り、なんかの自慢、人生相談、恋愛相談、なんでもありだ。とにかく、メールの件名に「レッツ・ネット!」と書いて下記のアドレスまで送ってほしい。いただいたお便りは、基本的にここで紹介させていただくので、どうしても人に言えない話題の場合は「これは出さないで」と一筆添えてほしい。皆さんの熱い声をお待ちしている!

im-welove@impress.co.jp



オールFlashのページでもなんのその。3種類のボタンにマウスを載せると「ド、ミ、ソ」と和音になるが、そのあたりもまったく問題なし。さくさく動いてました。
www.nifty.com/bbn/nifbb.htm



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp